

令和7年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

■ねらいと出題の内容、今後の学習指導のために

㊦ 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や語彙などの知識及び技能の定着をみる問題です。

【出題の内容】

漢字の読み書き、語彙の知識及び技能に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

漢字は、多様な語句の形で使ったり、様々な文脈の中で使ったりすることができるように、「書くこと」の指導と関連させ、工夫して指導することが必要です。また、語彙は、漢字の学習と関わらせながら、我が国の言語文化に関する理解を深めさせるよう指導していくことが大切です。

㊦ 韻文・俳句

【ねらい】

俳句を提示し、理解と鑑賞力をみる問題です

【出典】

- A 「続鬼城句集」(村上鬼城)
- B 「童眸」(飯田龍太)
- C 「飛驒紬」(前田普羅)
- D 「十句」(中川宋淵/東京大学陵禅会后援会編)
- E 「紅葉山人俳句集」(尾崎紅葉)
- F 「六花」(鷹羽狩行)

【出題の内容】

- 1 俳句の内容や語彙・語感をもとに、俳句に表された情景を読み取る問題です。
- 2 俳句の内容や表現の技法などをもとに、俳句に表された情景を読み取る問題です。
- 3 鑑賞文をもとに、俳句に表された情景を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや作品に表された情景を読み取る力を養うことが大切です。

㊦ 古典

【ねらい】

基本的な内容の古典を提示し、知識と理解力をみる問題です。

【出典】

「貞観政要」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣い、及び漢文における返り点の問題です。
- 2 本文の内容に関する会話文を完成させることにより、本文の内容を適切に読み取ったり、内容を適切に解釈したりする問題です。

【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などを通して、話の展開や内容を根拠をもって読み取る力を身に付けさせることが大切です。また、他の作品や資料との関連性を考えて読むことなど、作品の世界をより深く、広く理解することを目指した指導の工夫が求められます。

㊦ 文学的な文章

【ねらい】

文学的な文章の読解を通して、場面の展開や心情などを読み取る力をみる問題です。

【出典】

「小田くん家は南部せんべい店」(高森美由紀)

【出題の内容】

- 1 登場人物の心情を適切に解釈する問題です。
- 2 登場人物の心情を適切に解釈し、定められた字数でまとめる問題です。
- 3 登場人物の心情を適切に解釈する問題です。
- 4 登場人物の行動をその理由とともに文脈に沿って読み取った上で、語を補うことで説明したり、定められた字数でまとめたりする問題です。
- 5 情景描写を理解し、小説の表現を適切に解釈する問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的な文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。

五 説明的な文章

【ねらい】

説明的な文章の読解を通して、思考力や論理的な読解力をみる問題です。

【出典】

「わからない世界と向き合うために」（中屋敷均）

【出題の内容】

- 1 言葉の意味・用法を識別する問題です。
- 2 本文の内容を、因果関係を踏まえて正しく読み取り、適切に解釈した上で、定められた字数でまとめる問題です。
- 3 本文の内容を正しく読み取り、適切に解釈した上で、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 本文の叙述を的確に把握し、また内容を適切に解釈した上で、解釈を吟味したり、語を補うことで説明したりする問題です。
- 5 本文の構成を論の展開に基づいて正しく把握する問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的な文章の読解の指導では、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に解釈する力も求められます。

六 条件作文

【ねらい】

示された複数の資料の内容を読み取り、条件として与えられた観点に基づいて自分の意見を明確にして書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

問題の設定に基づきながら、「どちらのアナウンス原稿を採用する方がよいか」について、見出した資料の違いを踏まえながら、作文としてまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

資料から読み取った内容を相互に比較検討しながら考察を深める力や、身に付けた知識を根拠として考えや意見を整理して書く力を身に付けさせる指導が必要です。

■まとめ

国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成のためには、まず基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が求められます。知識及び技能、また思考力、判断力、表現力等の相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。